



中勘助生誕130年 没後50年
 中勘助文学記念館
 開館20周年記念事業



撮影：柿沼和夫

縁 えにし

の

作

家

、

中

勘

助

静岡の人々と共に



一	朗読会「SPAC俳優の朗読で楽しむ中勘助」	6/21(日)
二	講演会「『銀の匙』と奇跡の教室が教えてくれたもの」	6/28(日)
三	講談師による怪談噺「秋の夜の怪談 <small>中勘助文学記念館ではじめての講談</small> 」	9/5(土)
四	俳句講座「中勘助が愛した羽鳥の自然を詠む」	10/28(水) 11/4(水) 11/11(水) 11/18(水)
五	トークイベント「“この1曲”をとことん語る <small>中勘助のレコードコレクションから</small> 」	11/8(日)
六	講演会「物語はこうして生まれた <small>中勘助の『鳥の物語』と戦争詩</small> 」	11/28(土)
七	座談会「中勘助と羽鳥の生活」	2016年 1/23(土)
八	展覧会「縁の作家、中勘助展 ～静岡の人々と共に～」	2016年 2/3(水)～2/18(木)

※各会場、詳細については裏面に記載。内容については、都合により変更になることがあります。

主催：静岡市
 企画・制作・問合せ：(公財)静岡市文化振興財団 TEL:054-255-4746
 粟科生涯学習センター 静岡市葵区羽鳥本町5-9 TEL:054-278-4141
 中勘助文学記念館 静岡市葵区新聞1089-120 TEL:054-277-2970

Naka Kansuke

中 勤助[なかかんすけ](明治18年～昭和40年)は夏目漱石の推薦で自伝的小説『銀の匙[さじ]』を『東京朝日新聞』に連載(前篇大正2年・後篇同4年)し、小説家としての地位を築きました。その後『提婆達多[たいばだった]』等インド三部作で小説の幅を広げつつ、雑誌『思想』(岩波書店)連載の『しづかな流』等、日常生活に取材した詩情溢れる日記体随筆で独自の世界を発表しました。

第二次世界大戦終戦をはさみ昭和18年10月～23年4月まで、中勤助、和[かず]夫妻は静岡市郊外の安倍郡服織村[はとりむら](現・静岡市葵区羽鳥)に移住しています。それが縁で、平成6年には夫妻が住んだ杓子庵[しゃくしあん]を整備復元し「中勤助文学記念館」を開館、翌年秋には遺族より草稿や蔵書を含む遺品が寄贈されました。来静岡前、東京で兄嫁・親友の娘・兄と立て続けに心の支えを亡くした中は、創作意欲が湧かない時期がありましたが、静岡移住後は『鳥の物語』に収録された珠玉の童話『白鳥の話』等のほか、人生を振り返る内容の随筆、羽鳥の自然を詠んだ俳句や短歌、詩も数多く発表する等、中勤助文学は再生に向かったと言っても過言ではありません。中勤助生誕130年、没後50年、中勤助文学記念館開館20周年にあたる本年度、その創作の秘密や作品の魅力に迫る8つの事業を、静岡からお届けします。



第一巻
朗読会

SPAC俳優の朗読で楽しむ中勤助

中勤助が静岡の子どものために記した童話4編を含む『鳥の物語』を静岡の地域文化を担う俳優が朗読します。

日時:6月21日(日)14:00～15:30
講師:木内琴子氏・鈴木陽代氏
(俳優/SPAC-静岡県舞台芸術センター)

会場:中勤助文学記念館
会費:無料 定員:30人

申込み:5月25日(月)必着。往復ハガキまたはHPで(多数抽選)。詳細は薬科生涯学習センターへ

第二巻
講演会

『銀の匙』と奇跡の教室が教えてくれたもの

中勤助『銀の匙』(岩波文庫版)を選校の伝説の国語授業において学んだ海渡氏。人として大切なこと、人生においてかけがえのないことなど、『銀の匙』とその授業が教えてくれたことを話します。

日時:6月28日(日)13:00～14:30
講師:海渡雄一氏(弁護士・元日弁連事務総長)

会場:葵生涯学習センター
会費:無料 定員:200人

申込み:6月10日(水)10:00～、電話で静岡市コールセンター(054-200-4894)へ(申込順)

第三巻
講演会による怪談

秋の夜の怪談
～中勤助文学記念館ではじめての講談～

日時:9月5日(土)18:00～19:00
講師:田辺鶴遊[かくゆう]氏(講談師)

演目:『番町皿屋敷』
会場:中勤助文学記念館
会費:無料
定員:30人

申込み:8月22日(土)10:00～、電話で薬科生涯学習センターへ(申込順)

第四巻
俳句講座

中勤助が愛した羽鳥の自然を詠む
～誰でもできる俳句講座～

初心者を対象に、中勤助文学記念館周辺を吟行し、俳句の詠み方を、実践的に学びます。

日時:10月28日、11月4日、11日、18日
毎週水曜日13:30～15:30

講師:青柳八風[はつふう]氏
(俳句塾「白龍」主宰、静岡県俳句協会事務局長)

会場:薬科生涯学習センター、中勤助文学記念館
会費:無料 定員:30人

申込み:10月7日(水)10:00～、電話で薬科生涯学習センターへ(申込順)

第五巻
トークイベント

“この1曲”をとことん語る
ラヴェル:弦楽四重奏曲
～中勤助のレコードコレクションから～

日時:11月8日(日)13:30～15:00
講師:小林旬氏(静岡音楽館AOI学芸員)

会場:中勤助文学記念館
会費:無料
定員:30人

申込み:10月10日(土)10:00～、電話で静岡市コールセンター(054-200-4894)へ(申込順)

第六巻
講演会

物語はこうして生まれた
～中勤助の『鳥の物語』と戦争詩～

中勤助の戦争に対する考えが終戦前後の静岡滞在を経てどう変化したか、静岡市所蔵中勤助関係資料調査結果を中心に説明します。

関係資料展示 11月11日(水)～12月10日(木)

日時:11月28日(土)13:00～15:00
講師:木内英実氏(東京都市大学人間科学部准教授)

会場:薬科生涯学習センター
会費:無料
定員:50人

申込み:10月30日(金)10:00～、電話で静岡市コールセンター(054-200-4894)へ(申込順)

第七巻
座談会

中勤助と羽鳥の生活

中勤助と関わりのあった人々から中文学の背景となった静岡・東京での暮らしや、中勤助文学記念館(杓子庵[しゃくしあん])開館秘話などを伺います。

日時:2016年1月23日(土)13:00～15:00
講師:奥山和子氏(文筆家)

前田昇氏(元中勤助文学記念館職員)

会場:中勤助文学記念館
会費:無料
定員:30人

申込み:12月22日(火)10:00～、電話で静岡市コールセンター(054-200-4894)へ(申込順)

第八巻
展覧会

縁の作家、中勤助展
～静岡の人々と共に～

作品の由来となった『銀の匙』、『銀の匙』賞賛の漱石からの書簡、遺族より寄贈された草稿や愛用品、物心ともに静岡時代を支えた福森道三郎らとの交流の証、来静岡前の心の拠り所であった兄嫁末子[すえこ]の遺品等を初公開します。

日時:2016年2月3日(水)～18日(木)
※2月15日(月)は休館日
10:00～18:00(入館は17:40まで)

会場:静岡市民ギャラリー 第4展示室
入場料:無料

- 各施設連絡先**
- 中勤助文学記念館
静岡市葵区新間1089-120 TEL:054-277-2970
 - 葵生涯学習センター
静岡市葵区東草深町3-18 TEL:054-246-6191
 - 薬科生涯学習センター
静岡市葵区羽鳥本町5-9 TEL:054-278-4141
 - 静岡市民ギャラリー
静岡市葵区追手町5-1 TEL:054-221-1017
静岡市役所静岡庁舎本館1階

問(公財)静岡市文化振興財団
TEL:054-255-4746

中勤助文学記念館

検索